

安全衛生上の注意事項

『注意事項』下記の注意を守ってご使用下さい。

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
2. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
5. よくフタをして、一定の場所に定めて貯蔵して下さい。
6. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
7. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 皮膚に付着した場合は、多量の石鹼水で洗い落して下さい。
9. 容器はつり上げないで下さい。やむを得ずつり上げる時は、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意して下さい。

取扱いまたは使用に際し、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号

TEL (06)6791-4031番(代表)

FAX (06)6791-4034番

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8

TEL (092)831-2281

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラー1番館102号

TEL (048)940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

取扱店



塗り替え専用水系厚膜下地材

ハイブリットプライマー

塗り替え専用水系厚膜下地材

塗り替え対象屋根材

◎プレスセメント瓦・厚形スレート瓦

注意: 塗り替え対象屋根材以外に
使用しないで下さい。

注: 塗料では瓦の割れの補修及び防止は出来ませんので、
割れの発生している瓦への塗装は避けてください。
割れが発生している瓦は差し替えてから塗装してください。
また、凍破を防止することはできませんのでご注意ください。

® オリエンタル塗料工業株式会社

特 長

- ①高い耐久性を発揮する付着性の優れた高品質のプライマーです。
旧塗膜の種類を問わず、多少の凹凸面でも平滑に仕上がります。
- ②上塗り仕上げ塗装として、アクリルー液型塗料、二液型ウレタン塗料、水系塗料、シリコン樹脂塗料等が、塗装可能です。
※ 他社同等品につきましては、弊社で塗装可能の確認を行っておりませんので、ご了承下さい。
- ③一液性ですので、大変作業性に優れています。
- ④刷毛、吹付け(エアースプレー、エアレススプレー)塗装のいずれでも塗装が出来ます。

用 途

- ◎古い旧塗膜のある厚形スレート、セメント瓦の下地調整等
(劣化が進み艶の引けた塗膜が残っており、瓦の表面に若干の凹凸がある場合に使用する)
- ◎乾式コンクリート瓦と薄形化粧スレート瓦には、ご使用になれません。

荷 姿

- ◎ハイブリットプライマー 石油缶 15kg入り
- 〃 〃 小口缶 4kg入り

標準塗装仕様

工 程	材 料	塗 装 方 法	水 希 釈 量	塗 布 量	塗 装 間 隔
①下 地	厚形スレート・プレスセメント瓦				
②下地処理	イ.旧塗膜の浮き、ハガレ等は、剥離を防ぐ為、完全にケレン除去して下さい ロ.ほこり、苔、カビ等は、ワイヤーブラシ、デッキブラシ等で取り除き、 高圧水洗で洗浄して下さい。 ハ.高圧水洗等の洗浄後は、十分に乾燥させて下さい。				
③水系厚膜 プライマー	ハイブリット プライマー	刷毛・ローラー エアレススプレー エアースプレー	0~5% 0~5% 0~5%	40~50㎡/15kg 0.3~0.4kg/㎡	24時間以上 (20℃)
④各種上塗 塗料	<ul style="list-style-type: none"> ・オリビー#8000 (溶剤型一液アクリル樹脂塗料) ・リコートトップ (二液型ウレタン樹脂塗料) ・ダイレクトコート (二液型シリコン樹脂塗料) ・水性シリコン屋根トップ (水性シリコンエマルジョン樹脂塗料) ・ニューマイルド優雅 (弱溶剤シリコン樹脂塗料) ・セラミトウキコート (強溶剤シリコン樹脂塗料) 				

※刷毛、ローラー塗りの場合、吸い込みの激しい時は作業性が悪くなりますから水希釈を適宜調整(5%以下)の上、ご使用下さい。塗装器具は使用後、直ちに水洗いして下さい。

※気温が20℃未満の場合は、48時間以上の乾燥時間が必要になります。

エアレス塗装機の種類

エアレスポンプ…最大吐出圧力 16MPa 最大吐出流量 2ℓ/min以上の能力機種
エアレスチップ…オリフィス系 0.017インチ(0.44mm)以上、FPT-O28以上
吐出量 約1,000cc/分以上のチップを選択して下さい。

塗装上の注意事項

- ①被塗物表面が、雨や霜、露等で濡れている時は、十分に乾いてから塗装して下さい。
又、被塗物及被塗物の形状によっては乾燥が遅い箇所がありますのでご注意下さい。
濡れた状態で塗装すると、フクレ、ハガレの原因になります。
- ②被塗物に付いているゴミ、ホコリ、苔等を十分にデッキブラシでケレンして下さい。
- ③旧塗膜が剥離したり、浮いている場合は、完全にケレン除去して下さい。
- ④被塗物表面が脆弱化している場合は、回転ブラシ、サンダー等で脆弱層を十分に除去して下さい。
- ⑤ケレン及び下地調整後は、必ず水洗して下さい。水洗後は十分に乾燥させて下さい。
- ⑥ハイブリットプライマーは他の塗料と相溶性がありませんので絶対に混合しないで下さい。
- ⑦エアレス塗装機及びホース内に残っているシンナー類は完全に除去し水洗いしてからハイブリットプライマーを吸わせるようにして下さい。シンナーが残っているとゲル化しますのでご注意下さい。
- ⑧朝・夕の結露時期、被塗物が高温の時、降雪雨の予想される時は、塗装を避けて下さい。
- ⑨塗装後、24時間以内に気温が5℃以下になると予想される場合は塗装を避けて下さい。
- ⑩単独での暴露は避け、4~5日以内に上塗り塗装して下さい。
- ⑪水希釈は遵守して下さい(5%以下)。希釈量が多くなるとフクレ、ハガレの原因となります。
- ⑫気温 20℃で24時間以上乾燥させて下さい。気温が20℃より低くなる時は2~3日乾燥させて下さい。
- ⑬塗装ミスの飛散により周辺を汚すトラブルとなる事があります。塗装ミスが飛散しないように十分な養生を行って下さい。

※このカタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。